

資料配布場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市市政記者クラブ

令和2年12月15日

国土技術政策総合研究所

社会の「これから」をつくる研究所『国総研』 令和2年度第3次補正予算の概要

～施工の円滑化・効率化、防災・減災、国土強靱化に係る研究等の実施～

国総研では、令和2年度第3次補正予算案において、デジタル化の活用等による施工等の円滑化・効率化を図るための研究関係経費、及び防災・減災、国土強靱化の取組を加速化するための研究関係経費として、8.6億円を計上しています。

1. 概要

- デジタル化の活用等による施工等の円滑化・効率化を図るためのICT施工の基準類整備等に係る研究関係経費
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(H30-R2)後において、防災・減災、国土強靱化の取組を加速化するための被害メカニズムの解明や事前防災対策の推進に資する研究関係経費

2. 予算案額（研究関係）

令和2年度第3次補正予算案額 859百万円

3. 実施項目

別紙「実施項目一覧」の通り

国総研では、国土交通省の研究機関として住宅・社会資本整備（河川、道路、建築、住宅、港湾、空港等）に関する調査・研究を行っています。



（土木・建築関係）

企画部 企画課長 尾崎 悠太 TEL：029-864-2674
FAX：029-864-1527

（港湾・空港関係）

管理調整部 企画調整課長 村上 学 TEL：046-844-5019
FAX：046-842-9265

<実施項目一覧>

課題名	概要
デジタルトランスフォーメーションセンターWEB会議システム構築	建設現場の非接触・リモート化を図るため、WEB会議中に自由な角度から3次元のデジタル設計データを閲覧し、フリーハンドで書き込みができるシステムを構築する。
施設の維持管理及び行政事務データの管理効率化に係る調査研究	排水機場ポンプ設備等の点検作業等の効率化を図るため、モデル施設にセンサ及び通信機器を設置し、各種データを取得する環境等を検討する。
ICT施工推進に必要な技術基準類整備に係る調査研究	ICT施工に係る技術基準類の策定のため、民間等より基準類の策定・改定が提案された新技術を、試験フィールド内で実際に使用し、精度やデータ処理方法について検証する。
多方向波浪に対する越波対策検討を行うための水理実験施設の機能強化	多方向から来襲する波浪に対する越波対策を検討するため、多方向からの波を再現可能な実験施設を整備する。
台風防災実験水路改修	様々な周期等の波浪を対象とした強風作用時の越波流量に関する技術的な検討ができるように、実験水路を改修する。
中山間地における降雨観測精度の高度化のための画像雨量計の開発	雨量計（地上・レーダ）の精度が低下する中山間地における集中豪雨監視体制を強化するため、モデル流域で開発したCCTV等のカメラ画像による降雨量推定法を検証する。
洪水・豪雨に対する道路構造物の強靱化に関する調査研究	橋梁基礎等の洗掘や道路閉塞の被災に対し、防止策の基準類への位置づけや道路機能のリスク評価手法を確立するため、被災状況・現場条件の調査や防止策に関する効果の検証等を実施する。
水害時の被災リスクを低減する既存戸建住宅の予防的改修方法に関する研究	水害に対する次善の予防策として、被災の程度を抑え、在宅での生活継続と早期復旧を可能とするため、既存住宅の予防的な改修方法の適用手法を確立する。